

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1958
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.51, No.8 (1958. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19580801--001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19580801--001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 三田學會雜誌

慶應義塾經濟学会

八月号

<p>不均衡の經濟表に就て………渡邊 建(君)</p> <p>——ウィング博士の『フランソワ・ケネーの經濟表』を中心として——</p> <p>書評及び紹介</p> <p>經濟學關係文獻目錄</p>	<p>資料</p> <p>——家計の労働供給機構の計測と理論——</p> <p>賃金・雇用分析の計量的基礎………小尾恵一郎(元)</p> <p>フランク時代における comitatus の展開………宇尾野 久(一五)</p> <p>グループワークの社会事業における位置………小島 栄次(一)</p> <p>——社会事業の概念の問題と関連して——</p>	<p>論 說</p>
--	--	------------

第五十一卷

第八号

昭和三十三年八月十一日  
昭和三十三年八月二十四日  
昭和三十三年八月三十一日  
昭和三十三年九月六日  
昭和三十三年九月十三日  
昭和三十三年九月二十日  
昭和三十三年九月二十七日  
昭和三十三年十月四日  
昭和三十三年十月十一日  
昭和三十三年十月十八日  
昭和三十三年十月二十五日  
昭和三十三年十一月一日  
昭和三十三年十一月八日  
昭和三十三年十一月十五日  
昭和三十三年十一月二十二日  
昭和三十三年十一月二十九日  
昭和三十三年十二月六日  
昭和三十三年十二月十三日  
昭和三十三年十二月二十日  
昭和三十三年十二月二十七日  
昭和三十三年十二月三十一日

昭和三十三年七月二十四日  
昭和三十三年七月三十一日  
昭和三十三年八月七  
昭和三十三年八月十四日  
昭和三十三年八月二十一日  
昭和三十三年八月二十八日  
昭和三十三年九月四日  
昭和三十三年九月十一日  
昭和三十三年九月十八日  
昭和三十三年九月二十五日  
昭和三十三年十月二日  
昭和三十三年十月九日  
昭和三十三年十月十六日  
昭和三十三年十月二十三日  
昭和三十三年十月三十日  
昭和三十三年十一月六日  
昭和三十三年十一月十三日  
昭和三十三年十一月二十日  
昭和三十三年十一月二十七日  
昭和三十三年十二月四日  
昭和三十三年十二月十一日  
昭和三十三年十二月十八日  
昭和三十三年十二月二十五日  
昭和三十三年十二月三十一日

三田学会雑誌

昭和三十三年七月号

定価 金九〇円 (送料別)

# MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 51, No. 7

July, 1958

## CONTENTS

	Page
On the Classification of Japanese Villages.....	M. Koike (1)
The Kumano Riot of 1614-15 .....	A. Hayami (20)
Estimation of Income-Leisure Preference Field .....	I. Ozaki (37)
Statistical Material on Expansive Reproduction under Capitalism by J. Kuczynski .....	M. Tokiwa (59)
Correlation Coefficients and Multicollinearity .....	T. Sato (72)
Reviews and Notes	

Published for  
**KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI**  
 (The Keio Economic Society)  
 Editorial communications to be sent to  
 the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,  
 Keio-Gijuku University,  
 Mita, Minatoku, Tokyo, Japan.  
 Price 90 yen

書評及び紹介

住谷悦治著『日本経済学史』……………飯田 鼎(六)

ねづ・まさし著『批判日本現代史』……………寺尾 誠(三)

グループワークの社会事業における位置

——社会事業の概念の問題と関連して——

小 島 栄 次

はしがき

社会事業を救済事業とのみ考えるべきでないことは、ケースワークの方面に関して本誌一九五七年一〇・十一月合併号の拙稿「学校社会事業について——社会事業の概念の問題と関連して——」に述べたが、本稿ではグループワークについて若干考察を行い、社会事業の概念について検討を加えると共に、社会事業の領域がこの方面でも次第に拡大する可能性のあることを指摘したい。そして社会事業のいわゆる技術論的な概念が、斯かる変化に応じ得る伸縮性を持つものであることを述べたいと思う。従って本稿は、グループワークの諸側面について一応の概観を行うが、グループワークそのものの立入った研究を目的とするものではない。なおまたグループワークは我が国ではまだ行われていないと言ってよい状態にあるので、以下述べることはすべてアメリカの事情である。

グループワークの社会事業における位置

一、グループワークにおけるグループ

グループワークとは、小集団の余暇活動をグループワーカーが援助することを言うのであって、ケースワーク・コミュニティオーガニゼーションと共に、社会事業の主要な方法として挙げられるものである。

一グループの人数は、最低限五―六人から最大限二五―三〇人くらいが適当とされるが、グループの種類は多種多様である。成員の年齢・性・職業などによって異なるし、活動の種類も、学習・レクリエーション・スポーツなど種々のものに分れ、これという特定の活動計画のはっきりしたものや何一つ持たないものもあるが、要するに余暇の時間に教育的活動又はレクリエーション活動を行うものである。行われる場所もいろいろで、グループワークを行う主要な機関としては、セトルメントハウス・コミュニティセンター・子供クラブ・教会・YMCA・YWCA・ボイスカウト・ガールスカウト・